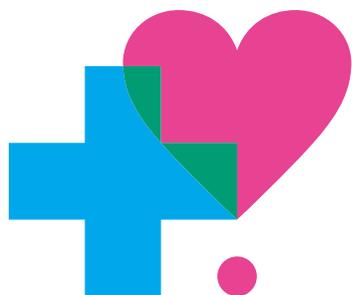


新中期経営計画スタート

「SHIP VISION 2030」



シップヘルスケアグループ 医療従事者様サポートマーク

医療従事者の皆様に寄り添う意志を表す[プラス]のかたち、
医療従事者の皆様への感謝の意志を表す[ハート]のかたち、
医療従事者の皆様を支える強い意志を表す[!]のかたち。

それらを組み合わせたオリジナルマークは、
いかなる時でも医療従事者の皆様をサポートするという、
シップヘルスケアグループの思いを表象し、
医療従事者の皆様への感謝を視覚的に伝えるためのマークです。

第33期 株主通信 [2024年4月 1日▶
2025年3月31日]

生命を守る人の環境づくり

 **SHIP HEALTHCARE**

シップヘルスケアホールディングス株式会社

証券コード：3360

マネジメントメッセージ



代表取締役会長

古川 國久



代表取締役社長

大橋 太

グループ理念

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

2025 KEYWORD

しつこく、とことん、あきらめず

「生命を守る人の環境づくり」を軸に「人々がより良く生きる環境づくり」へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当期(2025年3月期)は中期経営計画『SHIP VISION 2024』の最終年度を増収増益で締め括り、次期(2026年3月期)から始まる新中期経営計画『SHIP VISION 2030』へと確かな成長路線のバトンを渡すことができました。

当期の連結業績と利益還元について

売上高は中計目標を大幅に上回るとともに、
上場以前から25期連続増収。

当期の連結業績は、売上高が前期比7.5%増の6,782億円、営業利益が同1.0%増の247億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同9.6%増の151億円と、引き続き増収増益となりました。特に、売上高については、中期経営計画『SHIP VISION 2024』において当初掲げておりました目標6,300億円を大幅に上回ることができました。一方、営業利益についても過去最高となったものの、厳しい事業環境の下で当初計画に対しては未達となりましたが、トータルバックプロデュース事業における複数の大型プロジェクト案件の計画通りの遂行など利益の着実な積み上げを基礎に、メディカルサプライ事業における物流拠点への設備投資、ライフケア事業における新規施設オープンに伴う先行費用計上など、積極的な成長投資を行う中でも増益基調を確保したことは十分な成果であったと考えております。

株主の皆様への利益還元につきましては、30周年記念配当を実施した前期実績に対して、当期は更に8円上回る1株当たり58円の普通配当を実施させていただき、9期連続の増配を達成しております。今後も引き続き、安定的に配当性向30%以上(当期は36.2%)を維持し、業績の成長に見合った成果の還元を努めてまいります。

業績結果

(単位:百万円)	2024/3(前期)	2025/3(当期)	増減率
売上高	630,988	678,229	+ 7.5%
営業利益	24,539	24,779	+ 1.0%
経常利益	25,219	26,023	+ 3.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	13,799	15,128	+ 9.6%

新中期経営計画について

売上高1兆円のその先を見据えた
新中期経営計画を始動。

当社グループは、5か年の中期経営計画『SHIP VISION 2030』を策定し、次期より新たな取り組みを開始いたします。

本中期経営計画では、定量目標として「成長性」、「収益性」、「資本効率性」を重要な経営指標と位置づけ、それぞれ、「5年間の売上高年平均成長率(CAGR)5%」、「営業利益率4%」、「ROE12%」を目指してまいります。

具体的な取り組みにつきましては、基本方針を「グループ経営資源の最適化によるポートフォリオ経営」としており、より積極的にグループ内の再編統合を行い、経営の迅速性を高め、より一層経営資源を効率的に活用すべく基盤を整理してまいります。更に、長期目標である連結売上高1兆円の実現とその先の業容を支えるグループの基盤について、組織・人材、投資・財務、ガバナンスなどあらゆる面から最適化を図ります。これを基礎に、新たな事業ポートフォリオの構築に向け、「新規事業創出」、「再編統合」、「成長領域の拡大」といった施策を重点的に推し進めてまいります。

特に、新規事業創出に向けては、「生命を守る人の環境づくり」を軸としながら、マーケットが広がる「Well-Being」領域での新たな取り組みを更に前進させ、「人々がより良く生きる環境づくり」へと、当社グループが提供するソリューションの幅を広げてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新中期経営計画
「SHIP VISION 2030」の概要

新中期5カ年経営計画 (2026年3月期～2030年3月期)

「SHIP VISION 2030」

当社グループは、創業来SHIP理念を通じて“生命を守る人の環境づくり”をグループミッションに、「医療」「保健」「福祉」「介護」「サービス」の5分野に特化し、最適なソリューションを一括して提供し成長してまいりました。このたび、新たな成長戦略である新中期5カ年経営年計画「SHIP VISION 2030」が始動いたしました。

この新中期経営計画ではこれまで同様に既存事業の成長を図っていくとともに「Well-Being」領域などを含む新規事業創出やこれまでM&Aを実施して増加したグループ会社の再編統合による経営効率化、グループシナジーの更なる強化を図ってまいります。加えて、財務・資本戦略の強化としてこれまで掲げていた配当性向30%以上という目標に加え、明確なキャピタルアロケーションに対する方針を設定し、透明性のある成長投資と株主還元強化をさらに図ってまいります。

定量目標

成長性

売上成長率

5%

(年平均成長率 CAGR)

収益性

営業利益率

4%

グループ経営資源最適化

資本効率性

ROE目標

12%

株主資本コストを上回るROE

基本方針

	基盤	基本方針
グループ経営資源の最適化	事業	<ul style="list-style-type: none"> 「生命を守る人の環境づくり」に加えて「自然を守る」領域との二本柱に 既存事業の更なる成長を加速 事業間の融合による基盤事業の強化
	投資・財務	<ul style="list-style-type: none"> 次の成長のための投資 適切なキャピタルアロケーション 資本コストを意識した、効率的な経営
	人材	<ul style="list-style-type: none"> 売上高1兆円の先を支える人材づくり・組織づくり 「SHIP」理念の浸透
	ガバナンス・コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 規則を重んじ「生命を守る・自然を守る」を全うする

シナジー
創出

ポートフォリオ経営

新規事業創出

再編統合

成長領域の拡大

収益力強化

資産効率

重点項目

重点項目
1

新規事業創出

「生命を守る人の環境づくり」を軸にWell-Beingを通じた「人々がより良く生きる環境づくり」へ

重点項目
2

再編統合

グループ会社の自律的な成長を軸としつつ、経営資源を効率的に統合し、グループの総合力を発揮

重点項目
3

成長領域の拡大

グループ連携で得られる様々なリソースを活用し、さらなるシナジーを創出

新中期経営計画 「SHIP VISION 2030」の概要

重点項目
1

新規事業創出

「生命を守る人の環境づくり」を軸に
「人々がより良く生きる環境づくり」へ

Well-Beingの推進

当社グループミッション「生命を守る人の環境づくり」のもと、これまで「生命を守る」という領域に特化したビジネス展開をしてまいりました。この領域の捉え方をさらに拡大し、自然環境などを含めた「人々がより良く生きる環境づくり」の領域へとグループ一丸となって拡大してまいります。



- 吹田市江坂公園及び吹田市立江坂図書館、桃山公園の魅力向上事業、中の島公園・吹田市立中の島スポーツグラウンドにおける指定管理者(Park-PFI事業)に選ばれ、指定管理業務を受託。

※Park-PFI制度:民間事業者による公共還元型の収益施設の公募設置管理制度

- 吹田市が保有する小学校、中学校、幼稚園、保育所等合計84施設に関する施設管理業務等を受託。

※業務期間:2023年10月1日~2028年3月31日



新たに吹田市立中の島公園・中の島スポーツグラウンドにおける指定管理者として選ばれました。

重点項目
2

再編統合

グループ会社の自律的な成長を軸としつつ、

グループ内再編統合の更なる推進

厳しい外部環境を踏まえ、今後も業界をリードする集団となるべく、従来より積極的にグループ内の再編統合を行ってまいりました。その結果、2024年4月1日時点では65社あったグループ会社のうち16社の再編統合が完了し、介護系会社及び調剤系会社はそれぞれ1社体制に移行することができました。新中期経営計画期間においては、さらに経営の迅速性を高め、より一層経営資源を効率的に活用するための再編統合を継続して進めてまいります。特に医療サプライ事業の領域においては厳しい病院経営環境による消耗品の価格交渉の激化や、メーカーによる流通の集約化の動きなども活発化していることから、再編統合・経営効率化に力を入れると共に、さらにビジネスを深掘りすることで、ビジネス領域の拡大やTPP事業をはじめとする他のセグメントへの連携・シナジー強化を図ってまいります。

セグメント	2024年 4月1日時点	2025年 4月1日時点	中期経営計画 期間中
トータルパック プロデュース事業	35社	30社	更なる 再編統合
医療サプライ 事業	17社	12社	
ライフケア事業	8社	5社	
調剤薬局事業	4社	1社	
持株会社(HD)	1社	1社	
合計	65社	49社	16社の 再編統合

経営資源を効率的に統合し、グループの総合力を発揮

次世代物流構想

メディカルサプライ事業では従来より大阪ソリューションセンターにて、RFIDを活用した医療消耗品物流の自動化・効率化を進めてまいりました。今後ますます深刻化する人手不足や院内スペース不足によるSPD*の院外ニーズへの需要へ対応するため、新中期経営計画期間においては、従来施設の約1.5倍の規模となる首都圏における自動倉庫への投資を新たに進めてまいります。これにより、競合他社との強い差別化を図ると共に全国網羅型商社としての企業ブランドを確立し顧客及びメーカーから選ばれる集団を目指してまいります。

大阪ソリューションセンター
(2021年運用開始)



首都圏最先端の新拠点構想



NEW

物流構想の5つのポイント

- 1 将来を見据えた働き手不足に対応した物流改革

人材の集約化・ロボット化による業務効率化
- 2 新たな購買戦略

拠点を活かした在庫保有や物流改善により、メーカー各社との連携強化
- 3 顧客ニーズに対応できるグループのブランド戦略

経営母体が異なる複数病院一括契約にも対応
- 4 BCP対応

医療材料の安定供給を可能とする体制の構築
- 5 院内スペース不足による院外への新たなニーズ

院内型SPDは病院に多くの空間を要することから院外ニーズへの需要獲得

*SPD(Supply Processing and Distribution)とは、院内の物流管理を代行するシステム

重点項目 3

成長領域の拡大

グループ連携で得られる様々なリソースを活用し、さらなるシナジーを創出

MSP事業を起点としたビジネス展開

病院の支出の約80%は人件費及び材料費と言われており、病院の事業運営においてこの部分のマネジメントは非常に大きな課題となっています。当社グループの展開するメディカルサプライ事業では顧客に最も近い日々の医療現場の事業であることから、きめ細かい運用改善提案やITの支援、包括的なアウトソースの受託などを通じてさらなる拡大を図ってまいります。また、再編統合を進め、様々なビジネスの情報収集源の役割を果たすとともに、これらの情報をトータルパックプロデュース事業を始めとするグループの他セグメントにも展開していく体制を整えてまいります。

グループ12社で各々のビジネス

	A 病院	B 病院
経営層		
循環器		
整形	●	
OP		
中材		●
施設課		
用度課		
庶務課		●
大型機器		
一括保守		

再編統合によりシェアUP

	A 病院	B 病院
経営層		
循環器		
整形	●	●
OP	●	●
中材	●	●
施設課	●	
用度課	●	
庶務課	●	●
大型機器		
一括保守		

商社系・SPD系新体制

ビジネスの発信源はMSPにあり!!



TPP事業との連携

新中期経営計画 「SHIP VISION 2030」の概要

財務・資本戦略

安定的な株主還元（9期連続増配）

当社は事業の成長と共に、株主の皆さまへの安定的かつ継続的な還元を重視しております。2025年3月期の1株当たり配当につきまして、当初計画では1株当たり53円を予定しておりましたが、当期の純利益が計画を上回ったことに加え、財務基盤の強化が確認されたことから、5円増配し、普通配当58円とさせていただきます。これにより、配当性向は36.2%となり、より充実した株主還元を実現することができました。続く2026年3月期の配当予想につきましては、普通配当60円を予定しております。

今後も、将来の事業展開や経営基盤の一層の強化に必要な内部留保を確保しつつ、配当性向30%以上を安定的に維持するという基本方針のもと、業績に応じた適正な成果の配分を継続してまいります。引き続き、株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

連結配当性向 **30%**以上

9期連続増配を達成

	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3 (予)
1株当たり配当(円)										
普通配当	28	32	35	37.5	40	41(注)	42	45	58	60
記念配当	2	-	-	-	-	-	-	5	-	-
合計	30	32	35	37.5	40	41	42	50	58	60
配当金総額 (百万円)	3,035	3,238	3,334	3,556	3,774	3,868	3,962	4,717	5,472	5,661
連結配当性向	32.2	31.3	30.7	30.2	30.8	31.8	32.8	34.2	36.2	36.5

(注)当社は、2021年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期以前の数値につきましては、当該株式分割が2017年3月期の期首時点で実施されたと仮定した数字としております。

キャピタルアロケーション

当社は、営業キャッシュ・フローを基盤とした資金創出を成長の原動力と位置づけております。今後もM&Aや設備投資を通じた新たな事業領域への挑戦や既存事業の競争力強化により持続的に企業価値を拡大し、「将来的な収益力の向上」と「株主の皆さまへの一層のリターン」双方の実現を目指してまいります。



機動的な自己株式取得及び消却

新中期経営計画「SHIP VISION 2030」において「ROE(自己資本利益率)12%の達成」を重要な経営目標とし、資本コストを上回るリターンの創出を掲げております。

この方針の一環として、自己株式の取得を機動的に実行する姿勢を明確にしており、2025年6月7日～12月31日にかけて、上限50億円/330万株の自己株式を取得する予定です。これにより、1株当たり利益(EPS)およびROEの向上が期待されます。加えて、2025年6月30日に自己株式731万株の消却を実施いたしました。

今後も、成長に向けた投資と株主の皆さまへの還元とのバランスを大切にしながら、継続して資本効率の改善を図り、企業価値の持続的な向上に取り組んでまいります。

取得の内容

- 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- 取得しうる株式の総数 : 330万株(上限)(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合3.5%)
- 株式の取得価額の総額 : 50億円(上限)
- 取得期間 : 2025年6月7日～2025年12月31日
- 取得方法 : 東京証券取引所における市場買付

消却の内容

- 消却する株式の種類 : 普通株式
- 消却する株式の数 : 7,319,266株(消却前の発行済株式総数に対する割合7.2%)
- 消却日 : 2025年6月30日

業績の概要

◆ 主要経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位: 百万円)

	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3(予想)
売上高	497,156	514,353	572,285	630,988	678,229	700,000
営業利益	21,800	20,505	21,144	24,539	24,779	26,000
経常利益	21,761	21,287	20,607	25,219	26,023	26,500
親会社株主に帰属する当期純利益	12,280	12,172	12,063	13,799	15,128	15,500
総資産	334,498	335,074	381,977	387,562	381,702	—
純資産	115,103	122,318	131,115	142,226	150,280	—

※ 「収益認識に関する会計基準」等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。また、2021年3月期の各数値は当該会計基準等を遡及適用しておりません。

◆ セグメント情報 (2024年4月1日~2025年3月31日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、大学附属病院を中心に複数の大型プロジェクト案件を予定通り遂行したことや、新しい形態のプロジェクトであるシニア向け分譲マンション販売を完遂したこと、医療情報ソリューションビジネスが好調であったこと、重粒子線がん治療施設においては2022年4月及び2024年6月に保険適用が拡大した部位における治療件数が増加したこと等により増益となりました。

以上の結果、売上高は133,167百万円(前連結会計年度比0.4%減)、セグメント利益(営業利益)は12,017百万円(前連結会計年度比1.8%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、新規SPD受託施設及び将来の物流構想に対する設備投資に伴う先行費用の増加や、原材料価格及び人件費高騰の影響等がありましたが、当初計画以上に複数の新規大型SPD受託施設が稼働開始したことや、前第4四半期にグループ参画した整形外科ディーラーの業績が当期は通年で寄与したこと等により増収増益となりました。また、2024年10月1日付で事業内5社の再編統合を実施いたしました。

以上の結果、売上高は474,919百万円(前連結会計年度比10.8%増)、セグメント利益(営業利益)は6,970百万円(前連結会計年度比6.9%増)となりました。

ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、食事提供サービスでは事業の戦略的な再構築や価格転嫁が進んだこと等により、コメをはじめとする食材価格の高騰を乗り越えて堅調に推移いたしました。一方で、介護サービスでは株式会社チャーム・ケア・コーポレーションとのコラボレーション案件である「グリーンライフ仲池上(123床・2024年7月新規施設オープン)」における先行費用を計上したことや光熱費の高騰等によりライフケア事業全体としては減益となりました。また、2025年1月1日付で事業内2社の再編統合を実施いたしました。

以上の結果、売上高は36,674百万円(前連結会計年度比1.6%増)、セグメント利益(営業利益)は2,189百万円(前連結会計年度比16.0%減)となりました。

調剤薬局事業

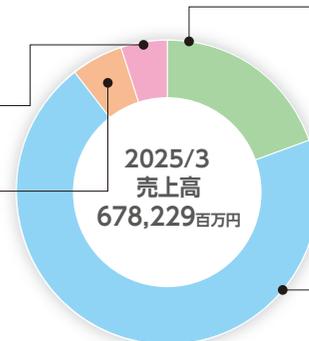
調剤薬局事業におきましては、新規出店及び小規模なM&A等により増収となりましたが、薬価改定や仕入価格上昇等が影響し減益となりました。

以上の結果、売上高は33,468百万円(前連結会計年度比2.3%増)、セグメント利益(営業利益)は3,426百万円(前連結会計年度比2.9%減)となりました。

セグメント別売上高構成比

調剤薬局事業
33,468百万円 / 5.0%

ライフケア事業
36,674百万円
5.4%



トータルパックプロデュース事業
133,167百万円
19.6%

メディカルサプライ事業
474,919百万円 / 70.0%

株式関連情報

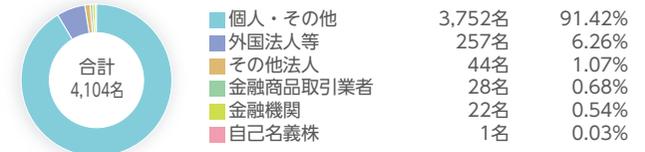
(2025年3月31日現在)

◆ 株式の状況

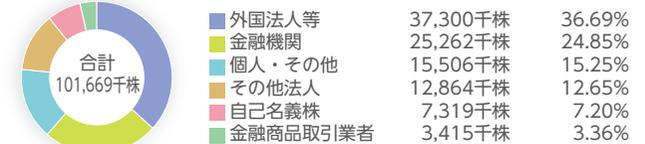
発行可能株式総数	128,000千株
発行済株式総数	101,669千株
株主数	4,104名

◆ 株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



株式分布状況(株式数別)



※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

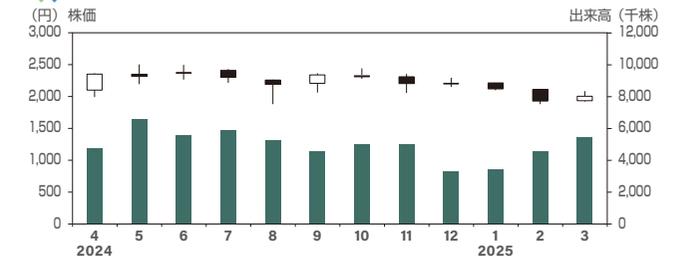
◆ 大株主の状況

[保有株式数] [持株比率]

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,257千株	12.99%
株式会社ココロ	7,977千株	8.46%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,996千株	7.42%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	5,979千株	6.34%
JP MORGAN CHASE BANK 380055	3,405千株	3.61%
春日興産合同会社	2,800千株	2.97%
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,512千株	2.66%
古川 幸一郎	2,460千株	2.61%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	2,148千株	2.28%
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	2,109千株	2.24%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。※ 当社は、自己株式7,319,266株を保有しておりますが、上記の上位10名からは除外しております。

◆ 株価・出来高の推移



会社情報

◆ 会社概要 (2025年3月31日現在)

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
設立 1992年8月
代表取締役会長 古川 國久
代表取締役社長 大橋 太
資本金 155億5,301万円
決算月 3月
従業員数 連結 7,805名(正社員) 16,866名(従業員)
本社所在地 〒565-0853
大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130
FAX : 06-6369-3191

◆ 役員 (2025年6月27日現在)

代表取締役会長	古川 國久
代表取締役社長	大橋 太
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役副会長	小川 宏隆
取締役副社長	横山 裕司
常務取締役	海野 眞史
取締役	安田 芳郎
取締役(社外)	佐野 精一郎
取締役(社外)	今別府 敏雄
取締役(社外)	伊藤 文代
取締役(社外)	西尾 信也
監査役(社外)	水島 藤一郎
常勤監査役	戸田 成重
監査役(社外)	南 浩一
監査役(社外)	佐野 信行

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<https://www.shiphd.co.jp/>





株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
期末配当金受領
株主確定日 3月31日
定時株主総会 毎年6月中
株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告によりおこなう
公告掲載URL <https://www.shiphd.co.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

サステナビリティレポート

「生命を守る人の環境づくり」をミッションのもと、持続可能な社会の実現を目指す当社グループの活動をまとめた「サステナビリティレポート2024」です。ホームページにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。



サステナビリティレポート2024表紙

サステナビリティレポート
ダウンロードはこちら



アンケートの お願い

当社では、株主の皆様からいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆様からの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか？

- ①1ヶ月以内 ②2～5ヶ月前
③6ヶ月以上前 ④1年以上前
⑤株式上場時(2005年2月)

Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

- ①中長期的に保有する ②短期で考えている
③買い増しする ④投資収益に応じて売却する
⑤未定

Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか？ (上位3点をお選びください)

- ①規模の拡大 ②ビジネスモデルの強化
③経営の効率化 ④収益性 ⑤安定性
⑥株主政策の強化 ⑦その他()

Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか？

- ①株主通信 ②ホームページ ③株主総会
④個人投資家向け説明会の開催
⑤その他()

Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか？

- ①マネジメントメッセージ ②新中期経営計画の概要
③業績の概要 ④株式関連情報
⑤サステナビリティレポート

Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか？

- ①大変満足している ②ある程度満足している
③普通 ④あまり満足していない ⑤不満である

Q7 その他、ご意見・要望等をご自由に記入ください。